

事業所名称(事業者番号): 秦荘ケアプランセンター(2571700083)TEL 0749-37-2669

提供サービス名: 居宅介護支援事業所

評価年月日: 令和4年3月31日

評価結果整理表

I. 適切なサービスの実施

1 利用者本位のサービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		着眼点での チェック数	自己評価結果
①	利用者を尊重したサービスの提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	4 項目/4項目	a・b・c
②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	3 項目/3項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
理念や基本方針は重要事項説明書に記載され、利用者や家族にも説明している。定期的に研修を受講している。			
(2) 利用者満足の向上に努めている。			
①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	2 項目/4項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
訪問の際サービス利用について満足できているか確認している。介護支援専門員としての役割を果たせているかも適宜聴取している。			
(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	3 項目/3項目	a・b・c
②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	4 項目/6項目	a・b・c
③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	4 項目/4項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
契約時や苦情発生時に苦情受付窓口の連絡先を案内している。受け付けた苦情は迅速に対応し、記録を保管している。			

2 サービスの質の確保

(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。			
①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	3 項目/3項目	a・b・c
②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	5 項目/5項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
自己評価は年一回必ず行う。結果を委員会で評価する体制を整えている。			
(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。			
①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化(業務マニュアル)されサービスが提供されている。	5 項目/6項目	a・b・c
②	標準的な実施方法(業務マニュアル)について見直しをする仕組みが確立している。	2 項目/2項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
法人で作成した業務マニュアルを保管し、いつでも見られるようにしている。			
(3) サービスの実施の記録が適切に行われている。			
①	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	6 項目/6項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
個人情報を守られているか毎月チェックしている。記録の廃棄や保存は規定に基づ適切に処理している。			

II. 介護保険制度の目的と介護支援専門員の役割の説明

1 サービスの開始・継続(ケアマネジメントの開始)		着眼点での チェック数	自己評価結果
(1) 介護保険制度の目的に関する説明	3	項目/3項目	a・b・c
(2) 介護支援専門員の役割の説明	2	項目/3項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
事業所独自に図柄などを入れたパンフレットを作成し、サービス利用の説明時に活用している。			

III. 利用申し込み時の説明

1 利用契約・利用者の権利			
(1) 利用者への重要事項及び利用契約説明における、利用者の状態に応じた説明と利用者の権利の説明	3	項目/3項目	a・b・c
(2) 利用者又はその家族の役割についての説明	1	項目/1項目	a・b・c
(3) 償還払いとなる場合の利用者及び家族への説明と同意	2	項目/2項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
高齢世帯や独居、認知症の方など事前に把握できるケースは契約時に家族に同席を求め、適切に契約できるようにしている。支給限度額を超える利用のケースは自己負担の発生と具体的な金額を計算して説明のうえ同意を得ている。			

IV. サービス内容

1 利用者や家族の意向の確認・総合的な援助の方針			
(1) 利用者や家族の意向の確認	2	項目/2項目	a・b・c
(2) 総合的な援助の方針	3	項目/3項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
アセスメントで利用者や家族の意向は確認している。サービス担当者会議の開催が難しい時や、参加が難しい事業所には必ず照会を依頼している。ケアプランの原案にも意見を頂いている。			
2 課題分析			
(1) 適切な方法による課題分析の実施	5	項目/5項目	a・b・c
(2) 課題の設定と表現	3	項目/3項目	a・b・c
(3) 利用者・家族の「困りごと」に対する働きかけ	4	項目/4項目	a・b・c
(4) 課題の優先順位の整理	2	項目/2項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
できることに目を向け、本人の力を活かせるよう援助内容にも入れている。アセスメントから優先を整理している。			
3 長期目標・短期目標			
(1) 長期目標の設定	3	項目/3項目	a・b・c
(2) 短期目標の設定	5	項目/5項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
短期目標は数字を入れるなどし、達成評価がしやすいようにしている。達成の実感が持てるように実現可能な内容としている。			
4 サービス内容・種別・利用頻度と期間			
(1) サービス内容	6	項目/6項目	a・b・c
(2) 他法に関する情報収集と調整	2	項目/2項目	a・b・c
(3) サービス種別	5	項目/5項目	a・b・c
(4) サービス利用頻度と期間	6	項目/6項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
本人や家族の状況を考えてサービスを提案している。短期目標終了日に合わせて援助内容は見直ししている。			

5 週間サービス計画表		着眼点での チェック数	自己評価結果
(1) 週間サービス計画表の作成	3	項目/3項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
週単位以外の内容も記載している。アセスメント時に一日の生活の流れを確認している。			
6 居宅サービス計画原案の内容と説明			
(1) 居宅サービス計画原案の内容と説明	1	項目/1項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
会議の時に必ず原案を持参し、説明している。予定される介護保険の利用料は利用票を使い説明する。			
7 サービス担当者会議・関係者の調整			
(1) サービス提供事業者間の連携	1	項目/1項目	a・b・c
(2) サービス担当者会議	4	項目/4項目	a・b・c
(3) サービス担当者会議への利用者及びその家族の参加	2	項目/2項目	a・b・c
(4) 決定された居宅サービス計画の説明と同意	2	項目/2項目	a・b・c
(5) サービス担当者会議録の作成	2	項目/2項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
新型コロナの影響で担当者会議の参加人数を少なくするため、照会を用いて意見を確認することが多かった。コロナ禍でも必要な会議は開催した。			

V. サービス提供の実施状況把握と連絡調整(モニタリング)

1 モニタリング			
(1) モニタリングの実施と経過記録の作成	3	項目/3項目	a・b・c
(2) 各サービス提供機関が作成した個別援助計画の収集	7	項目/7項目	a・b・c
(3) 居宅サービス計画の評価及び再アセスメントの実施	2	項目/2項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
新型コロナ感染予防のため訪問できない状況の時は電話で実施し、毎月必ず実施した。事業所のモニタリングも評価の参考にした。			

VI. 資質の向上

1 資質の向上			
(1) 適正なサービス担当ケース数の遵守	2	項目/2項目	a・b・c
(2) 研修・人材育成	3	項目/3項目	a・b・c
(3) スーパービジョン(専門的訓練)の実施	2	項目/2項目	a・b・c
(4) 連絡体制の確保	2	項目/2項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
年度末に次年度の研修計画を立て、計画的に研修を受けている。連絡体制は整備済み			

VII. 医療連携

1 医療連携			
(1) 入退院に伴う医療連携	3	項目/3項目	a・b・c
(2) 主治医との連携	2	項目/3項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
入院中の面会ができないため医療相談員を通じて状況確認し、ケアプラン原案を作成している。入院時情報提供書は2日以内の提出を心がけている。			

Ⅷ. 地域連携

1 地域連携		着眼点での チェック数	自己評価結果
(1) 地域ケア会議等への参加	1 項目/2項目	1	a・b・c
(2) 利用者の生活の質の向上を目的とした地域連携	4 項目/4項目	4	a・b・c
(3) 利用者の財産管理	3 項目/3項目	3	a・b・c
(4) 利用者の権利擁護・虐待への対応	4 項目/4項目	4	a・b・c
判断した理由・総合評価			
地域ケア会議の開催がなく参加できなかった。虐待の定義を理解し、疑われるケースは地域包括支援センターにつうてようしている。今年度は該当なかった。			

Ⅸ. サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立されている。			
① 法人の事業所の理念・基本方針が明文化され、周知されている。	10 項目/10項目	10	a・b・c
判断した理由・総合評価			
法人の理念や基本方針は重要事項説明書等の文書に記載され、利用者や家族にも説明している。			

2 事業計画の策定

(1) 計画が明確にされている。			
① 事業計画の策定が組織的に行われている。	8 項目/8項目	8	a・b・c
② 事業計画が職員に周知されている。	3 項目/3項目	3	a・b・c
判断した理由・総合評価			
前年度の結果を踏まえて毎年事業所内で事業計画を策定している。職員にも説明があり目標達成のため取り組んでいる。			

3 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。			
① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	2 項目/2項目	2	a・b・c
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	2 項目/3項目	2	a・b・c
判断した理由・総合評価			
圏域内の管理者会議に適宜参加している。会議や日々の指導の中で管理者の役割や責任について考えを伝えている。			
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	4 項目/4項目	4	a・b・c
② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	4 項目/4項目	4	a・b・c
判断した理由・総合評価			
働きやすい職場について考え、管理職と連携している。経営の視点から毎月の実績件数を把握して事業継続の分析を行っている。			

X. 組織の運営管理

1 人材の確保・養成

(1) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
① 職員の就業状況や意向を把握し、必要があれば改善する仕組みが構築されている。	6 項目/6項目	6	a・b・c
② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	3 項目/3項目	3	a・b・c
判断した理由・総合評価			
毎年健康診断を受ける体制がある。センター長との個別面談やストレスチェックを受けて職員の心身状態を把握できるようになっている。			

2 安全管理

(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		着眼点での チェック数	自己評価結果
①	緊急時(事故、感染症の発生時など)における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	1 項目/4項目	a・b・c
②	災害発生時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	3 項目/3項目	a・b・c
③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	2 項目/4項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
緊急時の持ち出しファイルを作成し、独居や医療依存が高い人等把握できるようになっている。町内の防災マップを活用して利用者に避難場所や方法を伝えられるようにしている。			

3 関係機関との連携

(1) 関係機関との連携が確保されている。		着眼点での チェック数	自己評価結果
①	必要な社会資源を明確にしている。	2 項目/2項目	a・b・c
②	関係機関等との連携が適切に行われている。	6 項目/6項目	a・b・c
判断した理由・総合評価			
新型コロナの影響で関係機関との連絡会等はなかったが、連携する体制はある。			

事業者名称(事業者番号): 秦荘ケアプランセンター(2571700083)TEL 0749-37-2669

提供サービス名: 居宅介護支援事業所

評価年月日: 年 月 日

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、達成度評価の計画

評価年月日: 年 月

前回評価年月日: 年 月

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月 ~○年○月ま で)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先順位	内 容				
X2(1)②	1	安全管理	令和4年4月 ~令和5年3 月	①災害時に利用者の 安否確認がスムーズ にできるようにする。		R4. 9.30
				②緊急時持ち出しファ イルの内容を常に新 しい情報にする。		R4. 9.30